

# 橋本けいいち 熱血通信

市政活動報告【令和4年 新年号】

〒981-3213  
仙台市泉区南中山3丁目16-19  
TEL 090-1063-8833  
FAX (022) 376-5232  
Email: hashihashi@nekketsu.net



皆様、こんにちは。世界中でオミクロン株が猛威をふるう中、大変不便な毎日をお過ごしのことと存じます。新型コロナは私達の予想を超えており、あとどれくらい続くか誰にも分かりません。しかし私はこれからできる限りの対策と情報の提供に力を尽くして参ります。どんなに小さな事でもかまいません。お気づきの点がございましたら遠慮なくお声がけ下さい。ともに頑張ってお参りしましょう。

## 身近な市政情報

### 1 泉パークタウン第6住区・朝日地区は寺岡小・中学区に決まりました

三菱地所が造成を進めている泉パークタウン・朝日地区(東工区)が、これまで根白石小・中学区内にありましたが、寺岡小・中学区に変更するものです。今後造成が予定される中央工区・西工区の学区は販売状況を見て検討する事になります。

#### 学区変更理由

- ①寺岡小学校まで約1.5km、根白石小学校まで約3.8km
- ②寺岡中学校まで約1.8km、根白石中学校まで約4.5km
- ③寺岡小学校の現有校舎では対応可能だが、根白石小学校は対応不可能となる(今後の推計)
- ④令和4年1月より施行

### 2 七北田保育所と適応指導センターの合築による建て替えが行われます

老朽化の著しい七北田保育所(定員90名、昭和48年築)と適応指導センター(定員50名、昭和49年築)について両施設が合築により建て替えとなります。

建設地	現七北田保育所敷地
手法	1階が七北田保育所、2・3階が適応指導センターとなる
事業スケジュール	令和4年度 基本設計、令和5年度 実施設計 令和6年度以降 解体工事、令和10年度 供用開始

### 3 粗大ごみ収集のインターネット受付機能が拡充されます

粗大ごみの収集は現在、電話とインターネットにより申し込み受け付けが行われていますが、インターネット申し込み機能が拡充されました。

電話による受け付け 月曜日～金曜日、午前9時から午後5時まで

インターネット申し込み 24時間可能

変更内容 布団や自転車など従前の127品目に加え、バーベキューコンロやカラーボックスなど合計255品目が可能になります

#### 利用方法

- ・市ホームページ「粗大ごみの出し方」から受け付け画面に進んで下さい。
- ・メールアドレスを仮登録し、登録したアドレスに受け付けセンターから申し込みフォームが通知されます
- ・申し込みフォームに入力・送信後に登録完了メールが届きます
- ・受け付けセンターホームページにない品目は電話で

確認下さい

- ・申し込み可能期間は収集日の1ヶ月前から7日前までです
- ・粗大ごみ受け付けセンター(☎022-716-5301)  
家庭ごみ減量課(☎022-214-8227)

### 4 「せんだいのびすくサポーター」制度がよいよスタートします

子育て家庭に優しい取り組みを行う店舗が子どもの遊び場を提供する施設として、事業者から登録いただいていた「のびすくサポーター」について、子育て情報サイト「せんだいのびすくナビ」で検索できるようになります。

#### ①「おもてなし部門」254件

授乳スペースや割引・おまけ・子ども向けメニューを提供するお店等

#### ②「遊び場部門」43件

雨天時でも屋内でも子どもと遊べる施設等

#### ③利用方法

「せんだいのびすくナビ」を開き、「お出かけマップ」または「遊び場マップ」をタップする⇒地図上のピンをタップする⇒「詳細を表示」をタップする

<問い合わせ先>子育て応援プロジェクト推進担当

(☎022-214-2129)

### 5 地下鉄駅構内にモバイルバッテリーシェアリングサービスが設置されました

民間事業者の提案により、地下鉄仙台駅と泉中央駅構内に、モバイルバッテリーシェアリングサービス「Charge SPOT」が設置されました。このサービスは国内初の持ち運び可能なモバイルバッテリーのシェアリングサービスで、現在、全国の駅・空港・商業施設など約3万ヶ所に設置しています。

設置場所 地下鉄東西線仙台駅西改札エレベーター付近(20台分)  
地下鉄南北線泉中央駅西口改札付近(10台分)

#### 利用方法

- (1)Charge SPOT専用アプリをダウンロード
- (2)バッテリースタンドの二次元コードをスキャン
- (3)支払い方法を選択(クレジットカード、各種キャッシュレス決済)
- (4)バッテリースタンドからモバイルバッテリーを取り出し使用する
- (5)返却はバッテリースタンドの空きスロットに差し込む

利用料金 30分未満 165円 48時間未満 330円 その後24時間毎 330円

## 橋本けいいちプロフィール

- 仙台市議会 総務財政委員会 委員
- 仙台市 国民健康保険運営協議会 副会長
- 仙台市 地域包括支援センター運営委員会 委員
- 仙台市 食品衛生協会 顧問
- 宮城県トライアスロン協会 顧問
- 自由民主党仙台市区支部連合会 副会長

- 仙台市議会 子育て環境充実調査特別委員会 委員
- 仙台市 介護保険審議会 委員
- 仙台市 廃棄物対策審議会 委員
- 仙台市 薬剤師会 顧問
- 仙台市 早起き野球協会 顧問

昭和41年仙台市泉区生まれ/宮城県仙台第三高等学校卒/東北学院大学法学部卒



ホームページ

## 令和4年 第1回定例会 一般質問(内容要約版)

**橋本の質疑** 職員の震災の経験や教訓継承の現在の取り組みについて伺う。

**答弁** 震災後に採用された職員が4割を超え、経験・教訓の継承は益々重要になるものと認識する。本市では震災対応や復興業務に携わった職員から当時の思いや体験を聞き取りし、大学の研究機関等との連携のもと「職員間伝承ガイドブック」を作成している。新規採用職員研修に活用するとともに、職場でのミーティングや研修に利用するよう勧奨を行っている。今後更に活用状況を検証し内容の充実を図りたい。

**橋本の質疑** コロナ禍での消防職員の感染状況と感染防止対策について伺う。

**答弁** 消防はいかなる状況下でも、市民の財産を守る責務を有している。感染リスクの高い救急活動では専門家等の知見に基づいて策定した対策マニュアルにより、隊員の感染防止を図っている。また、職場では時間差での食事や仮眠用ベッドのパーティション設置などを行っている。消防局ではこれまで14人の職員の感染が発生しているが、業務への影響はありません。出勤不可能な職員が多数の場合の部隊運用や人員配置など、具体的シミュレーションを行い備えているところであります。

**橋本の質疑** 救急搬送困難事案の状況と原因の分析について伺う。

**答弁** 今年に入り、救急搬送困難事案の増加傾向が続いており、先般、統計開始以降最多の週83件となった。要因について雪道での転倒による負傷者が集中的に発生した事に加え、オミクロン株の感染拡大による医療機関の負担増加が背景にあるものと推察している。主要医療機関への協力要請の他、コロナ対応における病院長会議においても直接依頼している。また救急車稼働率が一時的に高まった際には最大で9隊の臨時救急隊を編成し対応を図ってきている。

**橋本の質疑** 今後の救急需要増大への対応について伺う。

**答弁** コロナ禍の影響や救急車現場到着時間の延伸、高齢化進展による救急需要の増大予測を踏まえ、本年4月に新たに青葉消防署に配置する「デイトタイム救急隊」の運用効果や、動向等を見極めながら充実強化に努めていきたい。

**橋本の質疑** DXを活用した救急搬送の効率化について伺う。

**答弁** ご提案の千葉市が導入している「SMART119」はAIによる緊急度や重症度の予測診断、救急患者の状況をネットワーク共有する事で複数の医療機関に受入照会できるシステムとなっている。本市では医療機関の受入照会状況を共有できる、病院照会サポートシステム運用となっているが、運用開始から約12年経過しており、AIを取り入れたシステム活用が求められています。消防庁においてもICT活用について検討がなされている事から、国の動向や先進事例などの情報収集を行い、システムの高度化について検討していきたい。

**橋本の質疑** コロナ禍での家庭ごみ収集体制の確保と感染対策について伺う。

**答弁** 家庭ごみの収集運搬は市民生活に不可欠であり、感染症流行下でも継続しなければなりません。委託事業者においては、基本的な予防策の徹底をはじめ、休憩場所の分散、時差出勤の実施など、従事者の接触機会を減らす事で感染拡大防止に努めてきたところです。従事者感染が増加した場合でも、業務調整や他部門からの応援などにより対応する事としている。こうした対応について、事業者と意見交換を行うとともに

に、引き続き緊密な連携を図って参ります。

**橋本の質疑** コロナ禍のごみの出し方と周知について伺う。

**答弁** 仙台市のホームページへの掲載に加え、自宅療養者にチラシを配布するなど周知を図ってきましたが、これらに加えクリーン仙台推進員や町内会のご協力をいただき、「袋を二重にする」「詰め込みすぎない」「口をきちんと結ぶ」事などを呼び掛けるチラシ配布やポスター掲示を行いたい。

**橋本の質疑** コロナ禍での地域包括支援センターの活動状況について伺う。

**答弁** 各センターから、対面での支援や多人数を集めた活動が難しくなったなどの声を伺っています。今年度の相談・支援実績は例年と同程度の件数で推移しているが、訪問や来所が減少し電話での対応が増えている。センター主催の介護予防教室は少ない状況となっており、依然として難しいものと認識しています。

**橋本の質疑** 今後の地域包括支援センターの取り組み方について伺う。

**答弁** これまで介護予防教室を少人数や屋外の感染リスクが少ない環境で実施する事や、センター職員が出向きフレイル予防の周知啓発を行うなど工夫を行ってきました。またタブレットを活用したオンライン介護予防教室の開催や、スマホアプリを使った取り組みを進めています。引き続きICTの活用を含め支援して参りたい。

**橋本の質疑** 今後の民生委員の活動支援について伺う。

**答弁** 民生委員協力員制度は、活動負担の軽減や新たな担い手発掘を目的に令和3年12月から実施しており、市内10地区19名の協力員に委嘱致しました。経験のある協力員による新任委員のサポートや世帯数の多い地区での見守り活動負担など、状況に応じて活動いただいております。新たに作成したリーフレットを町内会や学校への配布、市政だより等での広報を通じて、活動支援に努めて参りたい。

**橋本の質疑** 子ども達の学びの確保に対する教員不足の現状と対応、新年度の充足見込みについて伺う。

**答弁** 本市の令和4年2月時点で、高校及び特別支援学校に欠員は生じていませんが、小学校で18名、中学校で5名の欠員があります。これは、病気休暇や休職等において、代替教員が配置できていない事が要因です。これらに対し、少人数指導担当や教務主任等の担任以外の教員を、学級担任へ配置換えする等により対応しております。新年度は新規教員の採用に加え、新たな代替講師の配置や休職者の復職等により、欠員は概ね解消する見通しです。

**橋本の質疑** 錦ヶ丘中学校の取り組みへの評価と好事例集の活用について伺う。

**答弁** 教員の多忙化解消は、大変重要であると考えます。働き方改革を進める為の取り組み事例集を校長会で周知するとともに、各教員がオンラインで見ることが出来る事で、働き方改革の意義の浸透に役立っている。紹介のあった錦ヶ丘中学校の取り組みは、学校が主体性を発揮し、積極的に改革を推進している一例だと受け止め、効果や課題について共有が図られています。学校ごとに規模や地域性が様々であります。多忙化解消の取り組みを整理・体系化して学校に示すとともに、校長ヒアリング等の機会に実施状況の把握や助言を行って参りたい。

**橋本の質疑** 休校時におけるオンライン授業実施に向けた学習

支援について伺う。

**答弁** 災害や感染症等により、数日間にわたる休校措置を取る場合に、学びの機会を確保する為、オンライン授業を行う事としている。オンライン授業ではビデオ会議システムなどを活用した健康観察や学習課題をデータで配布し、オンライン上での質問、生徒同士の意見交換といった学習活動を想定しています。具体的な留意事項や先進校の実践事例なども学校に示していく事により、円滑に進める事ができる様支援して参りたい。

**橋本の質疑** これまでのトップセールスによる企業誘致の取り組みと今後の戦略について伺う。

**答弁** これまで首都圏に本社を置くライフサイエンス関連の大手企業やベンチャー企業、急成長を続けるICT関連企業などに対し、訪問や面会の機会を設けて、本市の熱意を直接お伝えしてきました。先日は仙台商工会議所主催の支店長交流会において、本市への追加投資の呼びかけを行ったところです。こうした取り組みにより1月に民間の研究開発拠点を開設したほか、現在開設準備が進められている案件や新規のお問合せにつなげるなど、新たに期待されるところです。地方分散への機運の高まりを捉えた効果的な取り組みが必要であります。都市機能の集積や首都圏からのアクセス性、高度な知的資源が集積する良好な研究開発環境といった本市の強みを活かして、本社機能やバックオフィス、ICT関連など、都市型産業や研究開発型企業などの誘致に戦略的に取り組んでいきたい。

**橋本の質疑** 国が推進するデータセンター分散化に対する誘致について伺う。

**答弁** 国ではデータセンターをはじめ、デジタルインフラの整備を加速させており、データのセキュリティやレジリエンスの強化に加え、地方におけるデジタル技術の実装を進める効果が期待され、本市としても大きな意義を持つものと考えます。本市には大規模なデータセンターを立地できる適地が少なく、土地の価格が高いなどの課題もありますが、一方で5Gを利用した技術の普及に伴い、小規模・分散型施設の設置ニーズも増加してくるものと考えます。データセンターは、本市企業立地促進助成金の対象としておりますので、国の動きを注視しながら誘致に取り組んでいきたい。

**橋本の質疑** 4病院再編の問題に関する、市内2病院との意見交換の重要性について伺う。

**答弁** これまで病院による連携・統合の協議が始まって以降、地域住民からの要望などを踏まえつつ、本市の考え方をまとめて参りました。この間、市内の2病院並びにその設置法人とは担当部局においてお話を伺ってきたところです。今後も両病院の経営面や施設の状況を把握していくなど、情報の共有や意見交換をしっかりと行って参りたいと考えます。

**橋本の質疑** 政策医療の課題に関する県との協議の必要性について伺う。

**答弁** これまで開催した医療提供体制に関する懇話会では、本市の政策医療の課題について様々なご意見を頂いております。新年度は、市内医療機関等の調査や有識者会議の設置により、本市医療提供体制の現状と課題について認識を深めて参ります。一方、県においては令和6年度からの次期地域医療計画策定に向け、新年度に仙台医療圏の医療提供体制の現状と課題の整理、必要なデータの分析を行うと伺っています。これらを踏まえ、調査の実施と分析において、県との適切な連携を図るよう県に働きかけを行って参ります。

**橋本の質疑** 整備予定の「中心部震災メモリアル拠点」と沿岸部関連施設との関係や複合整備の利点等について伺う。

**答弁** 震災遺構荒浜小学校や3.11メモリアル交流館は、震災の脅威を直接感じて、又地域の文化や歴史を学ぶ場としての役割を担っています。一方中心部拠点は東日本大震災のみならず、過去の災害の歴史や教訓を学び、「災害文化」を創造・発信する拠点、又被災各地のメモリアル施設を繋ぐハブとしての役割を目指しています。複合整備については都市のアイデンティティを象徴的に示す立地であり、音楽を活用した震災の記憶の喚起とともに、整備運営コスト縮減などが図れると考えています。

**橋本の質疑** この施設整備にあたり基本構想検討段階からの若い世代の関わりについて伺う。

**答弁** 大震災の伝承に関し、伝承と防災の担い手育成の次世代型の活動や防災未来フォーラムでの学生の発表など、参加される若い方々の姿に、大変心強く感じている。中心部拠点は震災の経験や教訓を未来に継承し、社会変化に応じた災害文化を創造し続けていく役割とともに、音楽ホールとの複合整備により、市民の誇りとなる文化芸術の拠点を目指していきたい。その為、まちの未来を担う若い世代の皆様へ、検討段階から参画していただく必要があると認識しており、基本構想策定にあたり、若い世代の意見を伺う機会を積極的に設けて参りたい。

**橋本の質疑** 「バスタ仙台構想」に対する仙台市の考え方と在り方について伺う。

**答弁** バスタについては、高速バスの集約による乗り場の分かりやすさ、乗り継ぎしやすさの向上など利便性を高める事や、市内外の魅力発信による観光ゲートウェイ機能の強化、地元まちづくり団体・商店街と連携した賑わいづくり、帰宅困難者対策を含めた防災力の強化など、必要不可欠な機能と考えています。仙台駅周辺の歩行者の回遊性や周辺道路の交通処理等にも配慮する必要がありますが、国との協議調整の場が設置された際には、本市の求めるバスタの姿をしっかりと伝え、東北を代表する玄関口に相応しい、魅力ある賑わいのある空間作りと一層のまちの活性化に繋がるよう取り組みます。

**橋本の質疑** (再質問) 4病院再編において市内にある当該2病院に対して情報をしっかりと聞き取るべきではないか、手遅れにならない対応について再度伺う。

**答弁** これまで2病院並びにその設置法人等と話しを聞かせていただいたところです。経営面の課題や施設整備の件、これからの医療需要の見通しなども含め、引き続き情報収集や意見交換を行って参ります。タイミングの問題もありますが、今年度中に2回の懇話会を開催致します。あわせて、今年度中に新たな本市の考え方をまとめ、県に提出させて頂きたいと考えます。更に来年度は県との令和6年医療計画策定に向け議論したいと考えます。

**橋本の質疑** (再質問) 保護者より要望の多い休校時のオンライン授業実施に向けた支援・ルール化について再度伺う。

**答弁** 数日間にわたる休校措置を取る場合のオンライン学習について、各学校での取り組みの事例などが積み上がってきております。数日間にわたる休校措置を取る際、各学校が色々判断しやすいような情報を整理するなどし、期間をはじめその他のルールといったものも含め早急に検討をして参りたいと思います。

# 仙台市中小企業等事業復活支援給付金のご案内

国の「事業復活支援金」の給付決定を受けた場合、「仙台市中小企業等事業復活支援給付金」に申請できます。

## 国の「事業復活支援金」について 申請期間：令和4年5月31日(火)まで

- 支給対象** 次の①、②の両方を満たす個人事業者・中小法人が対象となり得ます。
- ①新型コロナウイルス感染症の影響を受けていること
  - ②2021年11月～2022年3月のいずれかの月の売上高が、2018年11月～2021年3月の間の任意の同じ月の売上高と比較して30%以上減少していること

支給額 【支給上限額】	売上高減少率	個人事業者	法人		
			年間売上高※ 1億円以下	年間売上高※ 1億円超～5億円以下	年間売上高※ 5億円超
	50%以上	50万円	100万円	150万円	250万円
	30%以上50%未満	30万円	60万円	90万円	150万円

※売上高の比較対象となる、2018/11～2021/3の間の任意の同じ月を含む事業年度の年間売上高

詳しくは国の「事業復活支援金」ホームページをご覧ください ⇒ <https://jigyoyou-fukkatsu.go.jp/>

お問い合わせ先

事業復活支援金相談窓口

TEL.0120-789-140 (8:30～19:00)

## 仙台市中小企業等事業復活支援給付金について

- 支給対象** 次の①、②の両方を満たす個人事業者・中小企業(\*)等が対象です。
- ① (個人事業者) 住民登録または事業所の所在地が仙台市内であること  
(中小企業) 登記上の本店を仙台市内に置いていること  
(その他法人) 登記上の主たる事務所を仙台市内に置いていること
  - ② 国の事業復活支援金の給付決定を受けていること

※中小企業の事業活動の機会の確保のための大企業者の事業活動の調整に関する法律第2条第1項に該当する企業

**支給額** 国の事業復活支援金 給付決定額の1/10 (千円未満切り捨て)

支給額 【支給上限額】	事業復活支援金で 申請した売上高減少率	個人事業者	法人		
			年間売上高※ 1億円以下	年間売上高※ 1億円超～5億円以下	年間売上高※ 5億円超
	50%以上	5万円	10万円	15万円	25万円
	30%以上50%未満	3万円	6万円	9万円	15万円

※基準月(国の事業復活支援金の算定に用いた2018/11～2021/3の間の任意の月)を含む事業年度の年間売上高

**申請期間・申請方法** 2022年3月17日(木)～2022年7月29日(金) (当日消印有効)

感染拡大防止のため、以下の宛先まで郵送でご申請ください。

宛先：〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目6番1号 仙台パークビル4階  
仙台市中小企業等事業復活支援給付金事務局 行

詳しくは仙台市ホームページ ⇒

<https://www.city.sendai.jp/kikakushien/jigyosha/jigyofukkatsushienkyuhukin.html>

または各区役所・総合支所にて配布しております「申請の手引き」をご覧ください。

お問い合わせ先

仙台市中小企業等事業復活支援給付金事務局

TEL.022-214-3151 (平日9:00～17:00)

# 新型コロナウイルス感染拡大が続いています

お子さんや若い方の感染が増えています。マスク、手洗い、こまめな換気、密を避けるなど感染防止への取り組みがまだまだ大事です。ここでは、陽性となった場合の対応をまとめてみました。

## 陽性となった方の療養は？

- ・高齢者の方や入院治療が必要な方は、指示に従い入院して療養します。
- ・症状のない方や軽い症状の方は原則として宿泊療養施設（借上げホテル）で療養しますが、一人での療養が難しい方（中学生以下の方や介護が必要な方）や、家族の介護などの理由がある方は自宅での療養とする場合があります。
- ・現在、陽性者のうち約7割の方が自宅療養となっています。

## 自宅で療養をする方は？

- ・毎日ご自分の健康状態を電話等で保健所に知らせます。（スマホやパソコンからの連絡も可能です）
- ・体調が悪く不安な場合は、保健所に連絡します。症状により看護師が訪問し、医師の指示による解熱剤の提供や、入院に向けた手配が行われます。
- ・ご希望によりパルスオキシメーターが貸し出されています。
- ・必要な方には、食料品等が送付されています。乳幼児用の粉ミルクや紙おむつのセットも準備されています。



# 新型コロナウイルスワクチン接種

年齢や回数によって、ワクチンの種類や接種場所が異なることで、分かりにくいとお声をいただいています。あらためて表に整理してみました

### (1) 1回目・2回目接種

12歳以上	個別接種	・市内の医療機関で実施中 ・使用ワクチンはファイザー社製又はモデルナ社製
	集団接種	・TKP仙台西口会場にて隔週で実施中 ・使用ワクチンはファイザー社製
5歳～11歳	個別接種	・小児科を中心とした約90の医療機関で実施中 ・使用ワクチンはファイザー社製小児専用ワクチン

### (2) 3回目接種 ※1回目・2回目と異なる種類のワクチンも接種できます

18歳以上	個別接種	・市内の400超の医療機関で実施中 ・使用ワクチンはファイザー社製又はモデルナ社製
	集団接種	・市内16の会場で実施中 ・うち2会場（TKP仙台西口及び新東北ビル）はファイザー社製ワクチン、他の14会場ではモデルナ社製ワクチンを使用
	大規模接種	・ヨドバシカメラ仙台第二ビルで実施中 ・使用ワクチンはモデルナ社製
12歳～17歳	・令和4年3月25日から接種対象となりました。現在、接種券の発送に向けて準備中 ・接種可能なワクチンは今のところファイザー社製のみ、個別接種と集団接種で準備中	

# 新型コロナ「第6波」の収束はいつ？

新型コロナ感染症「第6波」の新規感染者数の減少がこのところ下げ止まり、逆に増加傾向に転じている地域も全国で多くみられます。第5波とは異なり、第6波では、感染が下がりきらないまま、次の第7波に直結してしまうことが現在懸念されています。

- 「第6波」は、本市におけるこれまでの最大感染者数である第5波の197人/日すら下回っていない。
- 「第6波」の収束局面では、感染者数は急激に減少したが、第6波では緩やか。
- いずれの波も人の動きが活発になる時期が過ぎて拡大（5波：夏休み明け、第6波：年末年始明け）。

## 「第7波」に備え、場面ごとに特に気をつけて欲しいこと



### 職場

▶テレワーク、時差通勤、会議はオンラインなど人との接触の機会を減らす工夫を。歓送迎会などの会食は、週末などの混雑時期をずらして。



### 学校

▶教室での基本的防止対策徹底。部活動では場面に応じたマスクの付け外し。用具・ボール等の消毒。タオルなどの共用はダメ。



### 帰省

▶懐かしい顔でも一堂に会すのではなく、一家族ずつ時間をずらす等工夫。親しき仲でも共用は避け、ドアノブなどはなるべく消毒。



### 旅行

▶旅先の感染状況は事前確認忘れずに。混雑する場所は時間を調整して空いている時期・時間で。余裕を持ったスケジュールも大事。



### 子ども

▶毎朝の検温など健康観察。熱や咳、風邪かなと思ったら無理に登園・登校はしない。校区外での塾や習い事、スポーツクラブ等の集まりにも注意。



### 高齢者

▶心身機能低下を防ぐため、家の中でも身体を動かそう。食生活・口腔ケアもしっかりと。家族や友人と繋がれる電話や手紙、SNSも活用。



## 家庭と社会での基本的感染拡大防止対策

マスク、咳エチケット、換気、3密を避ける、手洗い、消毒



## 活動レポート



2022年1月

国民健康保険制度は国民皆保険制度の中核として本市が運営し、市民生活を支える重要な役割を担っています。高齢化の進展や生活習慣病の増加等に伴い、医療費の増大や保険料の収納率低下、滞納など厳しい財政運営を強いられています。仙台市国民健康保険運営協議会副委員長として、こういった課題1つ1つに対し、対策を怠る事なく取り組んで参ります。



2022年2月

「音楽ホール震災メモリアル拠点整備」や「大手門復元事業」、「青葉山公園整備・仙台緑菜館建設」が進められている、青葉エリアの現地視察を行いました。本市の歴史・文化資源が集積するエリアの交流人口拡大に向け、魅力や利便性などの向上に向けた取り組みが進められています。仙台市民の大切な資源を確実に活かし将来への財産として引きついで参ります。



2022年3月

震災の経験や教訓を将来の防災に繋ぐ為のイベント「仙台防災未来フォーラム2022」が今年も開催されました。今回は8年目を迎え、企業や大学、そして地域団体など延べ95団体が参加し、日頃の活動を発信し、そして今後に備えた市民が防災を学ぶ為の様々なプログラムが実施されました。いつ発生するか分からない自然災害にしっかりとした準備を。



2022年3月

先日の地震による小さな被害はありましたが、無事に「アイスリンク仙台」が再開されました。今年は再オープン15周年を迎えたとの事です。仙台市を代表する荒川静香さん、羽生結弦さんお二人の功績を称えるとともに、今後のアイスリンク仙台の維持と記念ギャラリーコーナーの整備について取り組んで参ります。市民が力を合わせて盛り上げていきたいと思ひます。

皆様のご意見ご要望等どしどしお聞かせ下さい。お待ちしております。

TEL 090-1063-8833 FAX (022) 376-5232 Eメール : hashihashi@nekketsu.net



仙台市議会議員(泉区選出)5期

# 橋本けいいち 熱血通信

〒981-3213  
仙台市泉区南中山3丁目16-19  
TEL 090-1063-8833  
FAX (022) 376-5232  
Email: hashihashi@neketsu.net



皆様、こんにちは。世界中でオミクロン株が猛威をふるう中、大変不便な毎日をお過ごしのことと存じます。新型コロナは私達の子供を超えており、あとどれくらい続くか誰にも分かりません。しかし私はこれからできる限りの対策と情報の提供に力を尽くして参ります。どんなに小さな事でもかまいません。お気づきの点がございましたら遠慮なくお声がけ下さい。ともに頑張って参りましょう。

## 身近な市

### 1 泉パークタウン第6住区・朝日地区は寺岡小・中

三菱地所が造成を進めている泉パークタウン(東工区)が、これまで根白石小・中学校でしたが、寺岡小・中校区に変更するものが予定される中央工区・西工区の学区は販売状況を見て検討する事になります。

#### 学区変更理由

- ①寺岡小学校まで約1.5km、根白石小学校まで約3.8km
- ②寺岡中学校まで約1.8km、根白石中学校まで約4.5km
- ③寺岡小学校の現有校舎では対応可能だが、根白石小学校は対応不可能となる(今後の推計)
- ④令和4年1月より施行

### 2 七北田保育所と適応指導センターの合築による建て替えが行われます

老朽化の著しい七北田保育所(定員90名、昭和48年築)と適応指導センター(定員50名、昭和49年築)について両施設が合築により建て替えとなります。

建設地	現七北田保育所敷地
手法	1階が七北田保育所、2・3階が適応指導センターとなる
事業スケジュール	令和4年度 基本設計、令和5年度 実施設計 令和6年度以降 解体工事、令和10年度 供用開始

### 3 粗大ごみ収集のインターネット受付機能が拡充されます

粗大ごみの収集は現在、電話とインターネットにより申し込み受け付けが行われていますが、インターネット申し込み機能が拡充されました。

電話による受け付け 月曜日～金曜日、午前9時から午後5時まで

インターネット申し込み 24時間可能

変更内容 布団や自転車など従前の127品目に加え、パーベキューコンロやカラーボックスなど合計255品目が可能になります

#### 利用方法

- ・市ホームページ「粗大ごみの出し方」から受け付け画面に進んで下さい。
- ・メールアドレスを仮登録し、登録したアドレスに受け付けセンターから申し込みフォームが通知されます
- ・申し込みフォームに入力・送信後に登録完了メールが届きます
- ・受け付けセンターホームページにない品目は電話で

〒  
住所  
氏名

※期間は収集日の1ヶ月前から7日前まで

受付センター(☎022-716-5301)

上課(☎022-214-8227)

### 4 「せんだいのびすくサポーター」制度がよいよスタートします

子育て家庭に優しい取り組みを行う店舗が子どもの遊び場を提供する施設として、事業者から登録いただいていた「のびすくサポーター」について、子育て情報サイト「せんだいのびすくナビ」で検索できるようになります。

#### ①「おもてなし部門」254件

授乳スペースや割引・おまけ・子ども向けメニューを提供するお店等

#### ②「遊び場部門」43件

雨天時でも屋内でも子どもと遊べる施設等

#### ③利用方法

「せんだいのびすくナビ」を開き、「お出かけマップ」または「遊び場マップ」をタップする⇒地図上のピンをタップする⇒「詳細を表示」をタップする

<問い合わせ先>子育て応援プロジェクト推進担当

(☎022-214-2129)

### 5 地下鉄駅構内にモバイルバッテリーシェアリングサービスが設置されました

民間事業者の提案により、地下鉄仙台駅と泉中央駅構内に、モバイルバッテリーシェアリングサービス「Charge SPOT」が設置されました。このサービスは国内初の持ち運び可能なモバイルバッテリーのシェアリングサービスで、現在、全国の駅・空港・商業施設など約3万ヶ所に設置しています。

設置場所 地下鉄東西線仙台駅西改札エレベーター付近(20台分)  
地下鉄南北線泉中央駅西口改札付近(10台分)

#### 利用方法

- (1) Charge SPOT専用アプリをダウンロード
- (2) バッテリースタンドの二次元コードをスキャン
- (3) 支払い方法を選択(クレジットカード、各種キャッシュレス決済)
- (4) バッテリースタンドからモバイルバッテリーを取り出し使用する
- (5) 返却はバッテリースタンドの空きスロットに差し込む

利用料金 30分未満 165円 48時間未満 330円 その後24時間毎 330円

## 橋本けいいちプロフィール

- 仙台市議会 総務財政委員会 委員
- 仙台市 国民健康保険運営協議会 副会長
- 仙台市 地域包括支援センター運営委員会 委員
- 仙台市 食品衛生協会 顧問
- 宮城県ドライアスロン協会 顧問
- 自由民主党仙台市支部連合会 副会長

- 仙台市議会 子育て環境充実調査特別委員会 委員
- 仙台市 介護保険審議会 委員
- 仙台市 廃棄物対策審議会 委員
- 仙台市 薬剤師会 顧問
- 仙台市 早起き野球協会 顧問

昭和41年仙台市泉区生まれ/宮城県仙台第三高等学校卒/東北学院大学法学部卒



ホームページ

仙台市議会議員

橋本けいいち

活動報告